

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 4 区分  
【発行日】令和 6 年 5 月 21 日(2024.5.21)

【公開番号】特開 2022-182524(P2022-182524A)  
【公開日】令和 4 年 12 月 8 日(2022.12.8)  
【年通号数】公開公報(特許)2022-226  
【出願番号】特願 2021-90125(P2021-90125)  
【国際特許分類】

B 3 2 B 37/14(2006.01)

10

B 3 2 B 27/10(2006.01)

B 3 2 B 27/36(2006.01)

【F I】

B 3 2 B 37/14 Z

B 3 2 B 27/10

B 3 2 B 27/36

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 5 月 13 日(2024.5.13)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

紙基材層と樹脂層を含む積層体を製造する方法であって、

紙基材層の少なくとも片方の表面に、第 1 樹脂(A)を含有する層を形成する工程(工程 A)、及び、

前記第 1 樹脂(A)を含む層の表面に、押出ラミネーション、または、熱ラミネーションにより、ポリ(3-ヒドロキシブチレート)系樹脂(B)を含有する層を形成する工程(工程 B)、を含み、

30

前記第 1 樹脂(A)が、3-ヒドロキシブチレート単位と 3-ヒドロキシヘキサノエート単位(AH)を含む共重合体であり、

前記ポリ(3-ヒドロキシブチレート)系樹脂(B)を含む層を形成する工程において、前記ポリ(3-ヒドロキシブチレート)系樹脂(B)を含む樹脂材料の融点以上、かつ、融点より 30 高い温度未満の温度で、押出ラミネーション、または、熱ラミネーションで層を形成する、積層体の製造方法。

【請求項 2】

前記第 1 樹脂(A)を含む層の平均厚みが、0.75~20 μm である、請求項 1 に記載の積層体の製造方法。

40

【請求項 3】

前記ポリ(3-ヒドロキシブチレート)系樹脂(B)を含む層の平均厚みが、25~50 μm である、請求項 1 または 2 に記載の積層体の製造方法。

【請求項 4】

前記第 1 樹脂(A)を含む層を形成する工程において、前記 3-ヒドロキシブチレート単位と 3-ヒドロキシヘキサノエート単位(AH)を含む共重合体を含む水系コーティング液を紙基材に塗布して塗布膜を形成する工程である、請求項 1~3 のいずれか 1 項に記載の積層体の製造方法。

【請求項 5】

50

前記ポリ(3-ヒドロキシブチレート)系樹脂(B)が、3-ヒドロキシブチレート単位と3-ヒドロキシヘキサノエート単位(BH)を含む共重合体である、請求項1~4のいずれか1項に記載の積層体の製造方法。

【請求項6】

前記3-ヒドロキシヘキサノエート単位(BH)の平均含有割合が3~20モル%である、請求項5に記載の積層体の製造方法。

【請求項7】

前記3-ヒドロキシヘキサノエート単位(AH)の平均含有割合が6~25モル%である、請求項1~6のいずれか1項に記載の積層体の製造方法。

【請求項8】

紙基材層、第1樹脂(A)を含有する層、ポリ(3-ヒドロキシブチレート)系樹脂(B)を含有する層が順次積層している積層体であって、  
前記第1樹脂(A)を含有する層は、紙基材層とポリ(3-ヒドロキシブチレート)系樹脂(B)を含有する層と接しており、

前記第1樹脂(A)が、3-ヒドロキシブチレート単位と3-ヒドロキシヘキサノエート単位(AH)を含む共重合体である、積層体。

【請求項9】

請求項8に記載の積層体を含む、成形体。

10

20

30

40

50